

石田英一郎教授著作目録

(著者選)

昭和42年3月現在

東北大学記念資料室

17

石田英一郎教授略歴

明治	36.	6.	30	大阪市に生まる
大正	9.	3		東京府立第四中学校四年修了
大正	13.	3		第一高等学校卒業
昭和	14.	7		ウイーン大学哲学部第五ゼミスター修了
〳	15.	7		帝国学士院東亞諸民族調査室嘱託
〳	19.	1		蒙古善隣協会西北研究所次長
〳	23.	4		法政大学教授
〳	25.	3		日本学術会議会員
〳	26.	5		東京大学東洋文化研究所教授
〳	36.	11		文学博士
〴	38.	12		東北大学文学部教授
〴	42.	3		定年退官

『 』とイタリックは単行本・雑誌・新聞名

「 」と“ ”は論文名

著 作 目 録

発表年	著作・論文題目	発行所・掲載誌名	巻号	頁数
1940	「第二回国際人類学・民族学大会傍聴日記より」	『民族学研究』	6巻2号	133～139
	(書評) Robert Bleichsteiner : “Zum eurasiatischen Tierstil—Verbindungen zwischen West und Ost”	『民族学研究』	6巻3号	113～115
	(書評) Joseph Wiesner : <i>Fahren und Reiten in Alteuropa und im alien Orient</i>	『民族学研究』	6巻4号	128～130
1941	(書評) グレーブナー著(小林秀雄訳)『民族学研究法』	『民族学研究』	7巻1号	129～134
	「遊牧民族の起源」	『科学ペン』	6巻5号	88～97
	(書評) アグネス・キース(野原逸夫訳)『ボルネオ』	『民族学研究』	7巻2号	163～165
	(書評) パウル・エミル・ヴィクトル(津田逸夫訳)『きたかぜ』	『民族学研究』	7巻2号	165～167
	「邦領南樺太オロッコの氏族について」	『民族学年報』	3巻	343～390
1943	(書評) ハイネーゲルデルン(小堀基二訳)『東南アジアの民族と文化』	『民族学研究』	新1巻4号	89～96
	「東干に対する若干の考察」	『回教圏』	7巻4号	9～30
	「クラウゼとその構造論について」	『民族学研究』	新1巻11号	29～36
1947	(書評) 岡田謙著『民族学』	『民族学研究』	12巻1号	55～58
	「桑原考」	『民族学研究』	12巻1, 2号	13～26 13～28
	「世界史における発展段階」	『展望』	11月号	2～12
1948	『河童駒引考』	筑摩書房		325
	「ロシアにおける昔話研究の歴史と課題」	『民族学研究』	12巻3号	92～106
	「民族学の発展のために」	『民族学研究』	12巻4号	81～86
	「W・シュミットの近業とウィーン大学の消息」	『民族学研究』	12巻4号	63～65
	「太陽神話の系譜」	『進路』	3巻5号	25～30
	「歴史科学としての民俗学と民族学」	『人文』	3号	60～70
	「天馬の道」	『史学』	23巻2号	46～71

- (書評) 岡田太郎『民族学論攷』 『民族学研究』 13巻1号 86 ~ 89
『一寸法師』 弘文堂
(アテネ文庫) 64
- 1949 「文化史的民族学成立の基本問題」 『民族学研究』 13巻4号 1 ~ 20
「文化の概念と人間の科学」 『知性』 2巻7号 45 ~ 50
(書評) 今西錦司『遊牧論そのほか』 『民族学研究』 14巻2号 70 ~ 71
- 1950 “The Kappa Legend: A Comparative Ethnological Study on the Japanese Water-Spirit Kappa and Its Habit of Trying to Lure Horses into the Water” *Folklore Studies, Museum of Oriental Ethnology, The Catholic University of Peking, Peking* Vol.9 169
『民族学の基本問題』 北隆館 219
「月と不死」 『民族学研究』 15巻1号 1 ~ 10
- 1953 “Japan” *International Directory of Anthropological Institutions, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc., New York* 35 ~ 53
- 1954 「欧米の人類学界をめぐって」 『東洋文化』 15-16号 120~134
「文化とは何か」 『NHK教養大学』 6月号 17 ~ 26
「メキシコ人類学会の現状と諸問題」 『民族学研究』 18巻3号 54 ~ 65
「対馬豆鞆村の信仰習俗」 『対馬の自然と文化』 古今書院 407~423
- 1955 “Über die Mutter-Sohn-Gottheiten” *Actes du IV Congrès International des Sciences Anthropologiques et Ethnologiques, Vienne, 1952, II Ethnologique I, Vienne* 63 ~ 65
「古代メキシコの母子神—トウモロコシ儀礼を中心として」 『新嘗の研究』 2輯 193~216
吉川弘文館
『人類と文明の誕生』 三省堂 225
「日本民俗学の将来」 『日本民俗学』 2巻4号 37 ~ 48
「牛(文化史)」 『世界大百科事典』 3巻 125~128
平凡社

	「馬（文明と馬）」	『世界大百科事典』 平凡社	3巻	192~194
	「メキシコの古代文明」	『美術手帳』	101号	33 ~ 43
	『文化人類学ノート』	河出書房		225
	“The Mother-Son Complex in Japanese Religion and Folklore”	<i>KBS Bulletin</i> , Kokusai Bunka Shinkokai	No.15	9 ~ 11
1956	『桃太郎の母』	法政大学出版局		324
	「採集経済の段階」	『日本考古学講座 （縄文文化）』 河出書房	3	376~382
	「人間性は上部構造か—古典の生命を めぐって」	『近代文学』	11巻3号 （通巻 104号）	1~3
	「唯物史観と文化人類学—とくに文 化の構造と人間性の問題をめぐって」	『東洋文化研究 所紀要』	第9冊	1 ~ 23
	「原始社会」	『世界歴史事典 （改訂版）』平凡社	3巻	388~399
	“The Moon and Immortality”	<i>Japan Quarterly</i>	Vol.3 No.3	341~344
	“The Mother-Son Complex in East Asiatic Religion and Folklore”	<i>Die Wiener Schule der Völ- kerkunde</i> , Wien		411~419
	「人類の概念とヒューマニズム」	『現代ヒューマニ ズム講座』宝文館	2巻	31 ~ 16
1957	「氏族制度」	『世界大百科事典』 平凡社	13巻	154~159
	（共著）石川栄吉「文化人類学」	『人文科学の名著』 （毎日ライブラリー） 毎日新聞社		298~319
	「世界史と文化人類学」	『東洋文化研究所 紀要』	第12冊	1 ~ 26
	「文化人類学問答」	『民族学研究』	21巻3号	7 ~ 13
	“The Island of Women”	<i>Japan Quarterly</i> ,	Vol.4, No.4	454~460
1958	“Historical Materialism and Cultural Anthropology—With Special Reference to the Structure of Culture and Human Nature”	<i>Japan Science Review: Litera- ture, Philosophy and History</i> ,	No.9	68 ~ 71
	（共著）江上波夫，岡 正雄，八幡一郎 『日本民族の起源』	平凡社		332

	「アメリカ大陸の古代文明」	『世界史大系 (文明の発生)』 誠文堂新光社	2巻	364~397
	「ペルーの土器」	『世界陶磁全集』 河出書房	15巻	221~226
1959	(共著)寺田和夫, 石川栄吉『人類学概説』	日本評論新社		322
	“A Bond between East and West : An Anthropologist's View on Humanism”	<i>International Symposium on History of Eastern and Western Cultural Contacts</i> , Japanese National Commission of Unesco, Tokyo		245~247
	「日本民族の形成」	『日本のあけぼの—建国と紀元をめぐる—』 光文社		76 ~ 89
	「女人島の話」	『日本民俗学大系』 平凡社	12巻	239~252
	「総説」	『世界史大系(先史時代)』 誠文堂新光社	1巻	2 ~ 9
	「未開民族」	『世界史大系(先史時代)』 誠文堂新光社	1巻	404~427
	(共編)『アメリカ大陸』	『図説世界文化史大系(アメリカ大陸)』角川書店	11巻	294
	「日本の人類学概観」	『日本の民族・文化』 時潮社		9 ~ 17 218
	『文化人類学序説』			
	「メソアメリカの古代文明」	『世界考古学大系(アメリカ・オセアニア)』 平凡社	15巻	51 ~ 72
	「文化とは何か」	『現代文化人類学(人間の文化)』 中山書店	2巻	10 ~ 16
	(書評) 泉靖一「インカ帝国」	『朝日ジャーナル』	7月19日	77
1960	「みんぞくがく(民族学)」	『日本社会民俗辞典』誠文堂新光社	4巻	1404~1405
	「世界史における発展段階そのほか—ソビエト版『世界史』第1巻によせて」	『歴史評論』	2月	10 ~ 16
	「マヤ・メキシコとアンデスの絵画」	『世界名画全集』 平凡社	1巻	73 ~ 79
	「スサノオノミコトの抵抗—日本神話を推理する」	『週刊朝日別冊』	3月1日	85 ~ 89
	「馬と戦車」	『図説世界文化史大系(東西文化の交流)』角川書店	26巻	89 ~ 95

- 「人間の呼ぶ声—原始芸術の底にあるもの」 『美術手帳(原始芸術)』 10月増刊 117~123
180号
- (書評) Rushton Coulborn:
The Origin of Civilized Societies 『声』 丸善 7号 140~142
- 1961
- (共著)泉靖一, 寺田和夫等
『アンデス・東京大学アンデス地帯学術調査団1958年報告書』 美術出版社 528
- 『文化人類学における比較—方法論的覚え書』 『東京大学教養学部比較文化研究』 1輯 1 ~ 9
- 「人類と文明について」 『国学院大学日本文化研究所紀要』 8輯 27 ~ 44
- 「愛と憎しみの文化—西洋文明論のための覚え書」 『自由』 3巻19号 2 ~ 10
- 「現地調査と文献調査」 『民族学研究』 25巻3号 58 ~ 60
- 「文化の隔離と文化の偏重」 『民族学研究』 25巻3号 60 ~ 62
- 「永遠の日本人—日本民族文化の起源論によせて」 『中央公論』 7月号 331~342
- 「日本文化の起源—太平洋学会議の討論から」 『朝日新聞』 9月3~4日
- “A Culture of Love and Hate” *Japan Quarterly* Vol. 8, 394~402
No. 4
- (共著) 泉靖一, 曾野寿彦, 寺田和夫
『人類学』 東京大学出版会 173
- 1962
- 「形成期の農耕文化」 『古代史講座(原始社会の解体)』 2巻 285~300
学生社
- 「人類学上から見た人間の疎外」 『論争』 3月号 6 ~ 14
- “Nature of the Problem of Japanese Cultural Origins” *Japanese Culture: Its Development and Characteristics*, Chicago 3 ~ 6
- 1963
- “Unfinished but Enduring—Yanagita Kunio’s Folklore Studies” *Japan Quarterly* Vol. 10, 35~42
No. 1
- (編著) 『アメリカ』 『世界美術全集』 24巻 245
角川書店
- 1964
- 「私の日本発見」 『自由』 6巻1号 2 ~ 13
- (編著) 『メキシコ美術』 『世界美術大系』 別巻 2 216
講談社
- “Japan Rediscovered” *Japan Quarterly* Vol. 11, 276~282
No. 3
- 「二つの世界観」 『展望』 12月号 20 ~ 29

	“Mother-Son Deities”	<i>History of Religions</i> , Chicago	Vol.4, No.1	30 ~ 52
1665	(書評)『日本国家の起源』(至文堂)	『朝日ジャーナル』	1月10日	63 ~ 64
	「二つの国際会議」	『文化』 東北大学文学会	28巻4号	124~131
	「第七回国際人類学・民族学会議報告」	『民族学研究』	29巻4号	335~337
	「日本的人間関係の構造」	『展望』	9月号	41 ~ 51
	『東西抄—日本・西洋・人間』	筑摩書房		293
	「日本文化の型」	『朝日新聞』	12月1~12日	
1966	「文明の波動と境界について—ある考え方のためのノート」	『海外事情』 拓殖大学	14巻1号	9 ~ 13
	『新版・河童駒引考』	東京大学出版会		302
	「文化理論・文化の動態」	『日本民族学の回顧と展望』 日本民族学協会		64 ~ 66
	「大学教育および研究機関における民族学の発展」	『日本民族学の回顧と展望』 日本民族学協会		362~369
	『増訂・文化人類学序説』	時潮社		248
	「日本文化の体質」	『東洋学術研究』 東洋哲学研究所	5巻3	89 ~106
	(編著)『日本文化の源流』	『現代のエスプリ』 至文堂	21号	216
	『新版・桃太郎の母—ある文化史的研究』	講談社		304
	(編著)『シンポジウム・日本国家の起源』	角川書店 (角川新書)		212
1967	『新版・文化人類学ノート』	べりかん社(復興名著シリーズ)		246
	「日本文化論の理論的基礎—プロジェクト“日本民族性の比較文化論的研究のために”」	『東北大学日本文化研究所研究報告』	3集	1 ~ 20
	『マヤ文明—世界史に残る謎』	中央公論社 (中公新書)		217